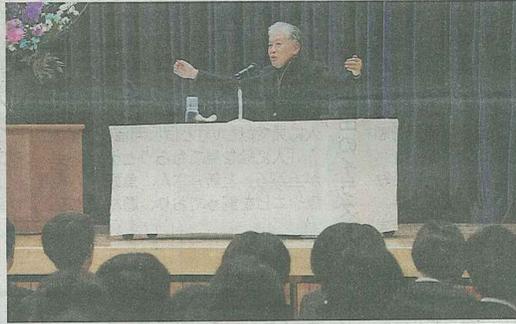


内田樹さん 松本で若者に語る 中東情勢や生成A | 出現後の仕事など



生徒に向けて語りかける内田さん

松本秀峰中等教育学校で

フランス文学者で本紙「今」の視角 筆者の内田樹さん(75)は18日、松本秀峰中等教育学校(松本市)で同校1〜5年(中学1〜3年生、高1〜2年生相当)の生徒ら約600人に向け、キャリア

米首脳会談でアメリカ側が中東への自衛隊派遣を要請してくると予想。自衛隊がホルムズ海峡で機雷除去をすること(「本が戦後初めて戦争状態になるかもしれない転換期」と語った。自分たちの運命を決める政治家などのプレーヤーが「人生をどのように変えるのか、目を開いて見ておかないといけない」と訴えた。)

内田さんは生成AIの出現後の仕事についても言及。現代の中高生は大学進学する際「どの仕事が将来残るかを考えて、学部や学科を選ぶのではなく、AI導入が雇用に及ぼす影響の特徴として「非常に大規模で、突然、どこから起きるのかは分からない」と予想した。

講演後、生徒から「文章を書くモチベーションを保持してほしい」と言いかたを問われた内田さんは、自分の文体にこだわらず、あらゆる人の文章を模倣して書くことで「思ってもみない発見がある」と、書く楽しさを話した。

(21) 令和8年(2026年)3月21日 土曜日

内田樹さん 若者にエール

仏文学者 思想家 松本秀峰で特別講演会

松本市の松本秀峰中等教育学校は18日、キャリア教育の特別講演会を開き、フランス文学者で思想家の内田樹さんが「転換期を生きた人」をテーマに講演した。全校生徒や教職員、希望する保護者約600人が聴講した。

内田さんは、差し迫った危険や異常を過小評価し率直に「正



10代の若者たちを激励する内田さん

求める今日の学校教育に疑問を呈し「設定されたキャリア(キャリアター)が成長を妨害する。土、三日会わされは刮目して期待つべし。スケールの大きな人間になつてほしい」とエールを送っていた。この日は同校3年生の前期課程修了式や秀峰立志式も行われた。(有賀文香)